

特定の池沼に生息する魚類の成長度に関する考察

M1J SUE

2008 年 10 月

1 はじめに

2008 年 9 月 13 日、日本でポケットモンスターシリーズの最新作である『ポケットモンスター ブラチナ』が発売された。前作『ポケットモンスター ダイヤモンド・パール』のバージョンアップ版であり、基本的なストーリーやマップは同一ながら一部イベントやポケモンの出現率などが変更されている。そんなこのソフトについて、Web 上にある情報が流れた。「リゾートエリアで“ すごいつりざお ”を使うとレベル 100 のコイキングが釣れる」というものである。さっそく釣りをしてみると、いきなりレベル 77 のコイキングが釣れ、非常に驚いた。後に発売された攻略本 [1] にもそのような記述があり、この情報を裏付けている。そこで、リゾートエリアに出現するコイキングのレベルを調べ、その分布からこのエリアに生息するコイキングの生態を考察する。

2 背景

2.1 コイキング

コイキングは“ さかなポケモン ”と分類される赤い鯉のような外見のポケモンである。第 1 作目から最も弱いポケモンとして扱われ、戦闘での活躍は非常に困難である。最初から覚えているわざに「はねる」が挙げられるが、戦闘中に使用しても何の効果も無く、その弱さを強く印象付けられる。オツキミやま前のポケモンセンターにいるオヤジに 500 円で売りつけられトラウマになった人も多いことだろう。しかし、レベルを上げることでギャラドスという強力なポケモンに進化することができる。その様はまさに鯉の滝登りを髣髴とさせ、常に人々の口マンを刺激し続けるポケモンである。また、力は弱いがその生命力は強く、水場さえあればどこにでも生息できる。なお、『ブラチナ』では「はねる」「たいあたり」「じたばた」の他、新たに「とびはねる」を覚えるようになり、僅かながらわざが強化された。

2.2 リゾートエリア

『ダイヤモンド・パール』『ブラチナ』に登場するマップで、ゲームクリア後に訪れることが可能な場所である。その名のとおり南国のリゾート地のような佇まいで、会員制の高級クラブなどがある。『ブラチナ』ではどのつりざおを使ってもコイキングのみが釣れる [1]。また、このリゾートエリアにはヌシがいると教えてくれる人がおり、予想外のポケモンが出現することが示唆されている。

3 実験内容

リゾートエリアの池で“ すごいつりざお ”を使用し、釣れたコイキングのレベルを 1000 体分記録する。出現するポケモンのレベルや出現率に影響を及ぼすどうぐやとくせいの影響を受けない状態とし、釣りをする位置や戦闘の終了法については問わないものとする。

4 実験結果

実験で釣り上げた各コイキングのレベルを表 1 に示す。

表 1: コイキングの出現回数

| レベル | 出現数 | レベル | 出現数 |
|---------|-----|----------|-----|
| 1 ~ 5 | 0 | 51 ~ 55 | 176 |
| 6 ~ 10 | 2 | 56 ~ 60 | 128 |
| 11 ~ 15 | 2 | 61 ~ 65 | 62 |
| 16 ~ 20 | 10 | 66 ~ 70 | 54 |
| 21 ~ 25 | 19 | 71 ~ 75 | 15 |
| 26 ~ 30 | 38 | 76 ~ 80 | 12 |
| 31 ~ 35 | 80 | 81 ~ 85 | 3 |
| 36 ~ 40 | 98 | 86 ~ 90 | 2 |
| 41 ~ 45 | 154 | 91 ~ 95 | 0 |
| 46 ~ 50 | 145 | 96 ~ 100 | 0 |

また、この結果をヒストグラムで表したものを図 1 に示す。

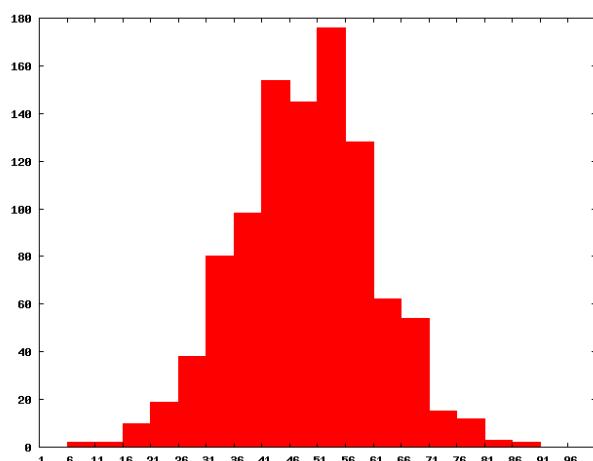


図 1: コイキングの出現回数 (縦軸: 出現数 横軸: レベル)

5 考察

実験結果より、レベル 51~55 が最も多くそこからレベル差が大きくなるにつれておおむね出現数が減少していることから、この池に生息するコイキングはレベル 50 付近を頂点として個体数が多く、レベル差に比例して少なくなると考えられる。通常、“すごいつりざお”で釣れるポケモンはレベル 50 程度が上限であり、このような分布を示す例は他にない。なぜこの場所のコイキングだけが特殊なのだろうか。

可能性として考えられるのは、この地域の気候的特異性である。リゾートエリアの存在する島はかなり高緯度に位置しており、シンオウ地方の同緯度地域は豪雪地帯である。しかしこの島は南国を思わせる木々が生い茂り、砂漠まで存在する。近くに存在する火山、ハードマウンテンの影響が大きいと考えられるが、この特殊な気候がコイキングの生態に影響を与えたのではないだろうか。ただし、他の地域ではこのような分布を示す場所は無いため直接的な原因とは考えにくい。この特異な環境が高レベルのコイキングを生み出す要因になっている可能性は大いにありうるだろう。

また、リゾート開発の結果として環境汚染が進行した可能性も考えられる。開発によって近隣の水質が変化し、結果として高い生命力を持つコイキングのみが生き残ったのではないだろうか。この池では“なみのり”で水上を進んだ場合にコダック、ゴルダックが出

現し、ベトベターといった公害に関係するポケモンもいないため大きな水質汚染は無いと思われるが、元々の環境が変わった可能性も否定はできない。

6 参考実験

『ブラチナ』では、とくせい「プレッシャー」「やるき」「はりきり」を持つポケモンをてもちの先頭に配置すると、レベルの高いポケモンが出やすくなる効果がある。そこで追加実験として「プレッシャー」の影響下でコイキングを 100 匹釣る実験を行った。すると、ある興味深い事実が浮かび上がってきた。表 2 は、最初の実験とこの実験におけるレベル $10n$ ($n = 1, 2, \dots, 10$) のポケモンの数と割合である。

表 2: レベル $10n$ におけるコイキングの割合

| プレッシャーなし | | プレッシャーあり | |
|----------|-------|----------|-----|
| 出現数 | 割合 | 出現数 | 割合 |
| 135/1000 | 13.5% | 64/100 | 64% |

この結果から、「プレッシャー」ありの状態ではレベル $10n$ のコイキングの出現数が非常に多い傾向が見られる。これより、「プレッシャー」ありではある一定の値にレベルが上昇していると考えられ、レベル 100 のコイキングが出現する確率も上昇していると思われる。

7 おわりに

今回の実験では、ゲーム中で示唆されるヌシと考えられるレベル 100 のコイキングを釣り上げることはできなかった。しかし、ある意味ヌシのようなポケモンに出会うことができた。なんと金色に輝く色違いのコイキングを捕まえることに成功したのである。色違いのポケモンはごくまれに出現する希少価値の高いポケモンのことで、出会うのは至難の業である。例え力は弱くても、コイキングはこのようなとんでもない贈り物をしてくれる。いつまでも私たちに夢とロマンを与え続けてくれることだろう。

参考文献

- [1] 元宮秀介&ワンナップ. ポケットモンスター ブラチナ 公式完全クリアガイド. メディアファクトリー, 2008.